

決算特別委員会環境厚生分科会

R2. 7. 15 (水)

午前11時9分～

場所：全員協議会室

1 開 議

2 事務事業評価対象事業の選定

3 その他

決算事務事業評価に向けて

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映させること。

☆事業選定について

(留意点)

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成長が見えにくいもの
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

過去の評価結果

別紙 No.2

【令和元年度審査（平成30年度決算）】

○環境保全対策経費		拡充
論点	・不法投棄対策に係る事業の具体的な業務内容や業務量、費用対効果は。	
意見	・様々な手法を駆使して対策を行うとともに、効果的な啓発方法を検討されたい。	
○生活困窮者自立支援事業経費		見直しの上継続
論点	・事業の委託内容と業務量は適切か。 ・市役所との連携及び人材確保の状況は。 ・前回の事務事業評価からどのように改善・拡充したのか。	
意見	・さらなる支援機能の向上を図るため、引続き庁内外の連携強化を推進されたい。	
○包括的支援事業経費		見直しの上継続
論点	・地域包括支援センター業務について、市として各センターの課題を把握しているのか。 ・適正な委託料となっているのか。	
意見	・地域包括ケアシステムが最大限に機能するよう、人的配置の検討を行うとともに、市民への一層の周知に努められたい。	

【平成30年度審査（平成29年度決算）】

○高齢者生活支援経費		見直しの上継続
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減によりサービスが縮小していないか。 ・事業は周知徹底されているのか。 ・敬老乗車券は市民にどのように定着しているのか。 	
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況が厳しさを増す中で、従前からの事業にとらわれることなく、広い視点で事業を検討されたい。 	
○家庭相談員等設置経費		拡充
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保・定着のための仕組みは。 ・家庭相談員の業務量は適正か。 	
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助制度の有無にかかわらず、必要な体制を整備されたい。 ・専門性の高い人材を確保する仕組みづくりを進められたい。 ・離婚前に自立を促進させる取組みの検討を進められたい。 	
○ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費		見直しの上継続
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・制度を利用しやすい形になっているのか。 ・業務委託により本市の福祉行政にどのように蓄積されているのか。 	
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを適切に把握し、長期的な視点での支援に努められたい。 ・制度を利用しやすくするため、事業のすき間を拡充されたい。 	
○子ども・子育て支援経費		見直しの上継続
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に広く利用されているのか。 ・子ども子育て支援事業計画の進捗状況はどのような方法で行っているのか。 	
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での取組みがさらに広がるよう検討し、引続き事業を継続されたい。 	

【平成29年度審査（平成28年度決算）】

○浄化槽設置整備事業経費		見直しの上継続
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・普及率向上の観点から単費上乘せ補助は有効なのか。 ・水質保全という目的に対して設置補助の上乗せは有効なのか。 	
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽設置の上乗せ補助については、公平性、効果性の観点から、今後、特定の地域に限らずに事業実施することを検討されたい。 ・水質保全の目的に対し、メンテナンスへの補助も含めて今後のあり方を検討されたい。 	
○ごみ減量・資源化等推進経費		見直しの上継続
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・集団回収報奨金の有無によって集団回収の実効性が左右されるのか。 ・クリーンかめおか推進会議の活動の目的・効果。 	
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンかめおか推進会議については次年度から実施を改めること。 ・集団回収については活動団体への支援のあり方を検討されたい。 	
○母子保健事業経費		拡充
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の枠組みの中で取り組みができなかったのか。 ・公設民営で行う必要性があったのか。 ・属人的要素による取り組みは適正か。 	
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター業務については直営を基本として事業を進められたい。 ・情報を集約し、各関係機関につなげるため、さらなる連携強化を図られたい。 	